

製造職（FRPタンク製造）の仕事

当社のFRPタンクは、徳島県美馬市にある自社工場で製造しています。当社はお客様ごとに異なるご要望に、1台づつ「手作り」でお応えするカスタムメイドを最大の特長としており、四国工場はその最も重要な作業工程を担っています。

《どんな仕事？》

四国工場では、「積層」「仕上げ」「検査」という3工程に分けてFRPパネルを製造しています。パネルは四国工場でタンクに組み立てることもありますが、大型タンクの場合は現場での組み立てとなり、兵庫県川西市にある当社事業所の工事部隊が担当します。

FRPタンクで使われているFRPパネルは、樹脂を浸潤させたガラスマットを土台とし、その上にウレタンフォームを置き、さらに樹脂を浸潤させたガラスマットを重ねて3層構造にして作ります。この作業を「積層（せきそう）」と言い、パネルの良し悪しはこれを行う作業員の腕にかかっていると言えます。

例えばガラス繊維に樹脂を浸潤させる作業も、ただ「塗ればいい」というものではありません。下手な作業員が行うと気泡が発生し、ブツブツと泡のあとが残る使い物にならない板ができます。積層作業が、実際にタンクとなった時のパネルの強度にも影響します。いかに図面通りに作るか、長年の経験が必要です。積層を終えたパネルは「仕上げ」という工程に移されます。仕上げでは、パネル側面のトリミングや、底板と天井板に仕上げ用の樹脂を塗る作業、さらに入排水口の取付などを行い、組立前のパネルに仕上げます。パネルはこのあと「検査」にまわされ、合格した製品のみ出荷されます。大手企業ではこれらの工程をすべて機械で行っていますが、それでは既製品を使え、というスタンスとなり、お客様のご要望にあわせて作る（カスタムメイド）ことができません。当社があえて「手作り」にこだわる



「積層」工程

理由です。

《入社のも動機と現在の担当は？》

私は地元（徳島県美馬郡）の工業高校卒業後、知り合いの電気工事店に就職しました。自宅から近い職場で、それなりに仕事は楽しく充実していましたが、二十歳を過ぎたころから将来のことを考えるようになりました。個人経営の会社だったため、保険もなくこのまま勤めて将来どうなるのかという見通しも立ちません。結婚して子供が出来て…、と考えた時、やはりちゃんとした会社に入り直そうと決心しました。そんな時、求人広告にあった「成形工」という文字が目に入り、「FRP」って何だろうと興味を持ち応募しました。

入社して10年、主に「仕上げ」工程を担当してきました。ただ、少数精鋭の職場なので、ずっと同じ仕事というわけではありません。「積層」もやれば「仕上げ」もやり、タンクに架台やはしごを取り付ける作業もやります。フォークリフトで部材を運んだり、現場で組み立てに従事することもあります。



「仕上げ」工程

《社内の雰囲気》

親しみやすい人ばかりで、和気あいあいと、本当にいい雰囲気の職場です。忙しいときはお互い助け合い、誰か一人に負担がかかりすぎないように常に気を配っていますし、特に新人に



FRP四国工場 宇都曜秋

は、やさしく丁寧に指導してくれます。

車で通勤している人がほとんどなので、「ちょっと帰りに一杯」ということはできませんが、実はお酒に強い人が多く、飲むとなると酒量は半端ではありません。大いに盛り上がります。(全く飲めない人もいますが…)



手前が宇都社員

プライベートが充実した人も多く、実は私も『阿波踊り』の公式団体である「鴨島きらく連」で男踊りを踊っています。阿波踊りは世界的にも有名で、私はまだ海外で踊ったことはありませんが、埼玉県越谷市や愛媛県松山市などから招待を受けて踊りを披露しました。「きらく」連と銘打っていますが、練習はなかなかキツく、仕事帰りや休日に汗を流しています。私の他にも阿波踊りの「鳴り物」をやっている人や、テニスのコーチもあり、多士済々です。

《仕事のやりがい》

私たちの仕事は「モノ作り」です。一からFRPパネルを作っています。その中で最も嬉しいのは、俗な言葉ですが「きれいにできた」ときです。

積層も仕上げも完璧で、これ以上ないパネルが完成した時、仕上がった製品をほれぼれと眺め、モノ作りの醍醐味を感じます。

また、実際に自分たちが作ったタンクがたとえば地元の小学校の屋上に設置されたりします。それを子供に見せ、あれはお父さんが作ったんだ、と自慢する時、子供の視線を感じて、ちょっと誇らしい気持ちになります。

いずれにせよ、日々の仕事を通じて自分がスキルアップしている実感を持てることが一番の魅力と言えるかもしれません。



「検査」を待つFRPパネル



架台取り付け作業中

《仕事の厳しさ》

技術部の中井課長が「ミスが許されないことだ。」と答えていましたが、全く同じです。

私たちが作ったパネルを使って現場でタンクを組み立てます。もし、設計図面と違う製品を作っていたとしたら、その時点で作業はストップです。

パネルは送り返され、作り直しとなります。タンクも建物全体の建築工程の一部なので、当社だけでなく施主、ゼネコン、他の業者にも迷惑をかけて

しまいます。

当社では「検査」工程で、設計図面どおり正確に作られているかのチェックを行います。ここで厳しい目を光らせることで当社製品の質を守っています。

《どんな人が向いている？》

実際のモノ作りの仕事のため、手先があまりに不器用な人は向かないかもしれません。工業系の勉強をしてきた人のほうが仕事に馴染みやすいともいえます。

あとは柔軟性です。私たちの仕事は、マニュアルはあってもその通りにはいかないことが多く、その都度臨機応変に対応せねばなりません。

ボーッとしている人には向きません。次に何をすれば最善なのか、常に考えながら作業を行う事が大切です。

あとは素直さです。先輩の教えを素直に聞く姿勢は当社だけでなく、どの会社でも必要な資質です。ただ、意外と思うかもしれませんが、工場での仕事には負けん気、やる気も必要です。失敗したら次は見返してやるくらい元気な人が向いています。